



2024年10月31日

各 位

会社名 **株式会社 ニツキ**
代表者名 取締役社長 和田 孝
(コード番号 6042 スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役 田中宜夫
(TEL. 046 - 285 - 0227)

新中期経営計画（2024年度～2026年度）策定のお知らせ

当社グループは、このたび、最近時の経済環境等を踏まえ、更なる事業の発展・拡大に向け、2026年度を最終年度とする新たな中期経営計画（2024年4月～2027年3月）を策定いたしましたので、その概要につき下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 新中期経営計画の基本方針

気候変動対策のため、世界的に脱炭素・カーボンニュートラルへの取り組みが一段と加速しているが、自動車部品メーカーである当社は、この大きな外部環境の変化に適切に対応して行く必要がある。

新たな中期経営計画は、その大きな外部環境の変化を乗り越えて行くために、事業構造の転換・見直しを着実に進めるとともに、成長軌道への転換・移行を確実に実現し、持続的な成長・発展と更なる企業価値の向上を目指して、積極的な対応を図ることを基本方針とする。

2. 計画の骨子

持続的な成長・発展の実現に向け、将来を見据えた事業構造の転換を進め、既存事業に代わる、新たな将来の主力となるべき新規事業の創出・育成に重点的に取り組んで行く。

また、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に着実に取り組み、更なる企業価値の向上を目指して行く。

(1) 成長軌道への転換・移行

- ①成長事業・ボリュームゾーン事業分野への早期参入を図る。
- ②自動車関連に固執することなく、非自動車関連事業についても積極的に対応する。
- ③新たな事業領域の拡大に向け M&A についても積極的な対応を図る。

(2) 優先的に取り組むべき新規事業

- ①産業機器事業は、今後も拡大が見込める市場であり、当社の持つガス関連技術とのシナジー効果も期待できるため最優先での対応を図る。

②水素関連事業は、従来のガス技術との親和性も高く、今後の市場規模の拡大も見込まれるため積極的な対応を図る。

③電動系・メカトロ関連事業は、脱炭素により今後の主力市場になると考えられているため、収益性・採算性を見極め積極的な対応を図る。

(3) 資本コスト・株価を意識した経営

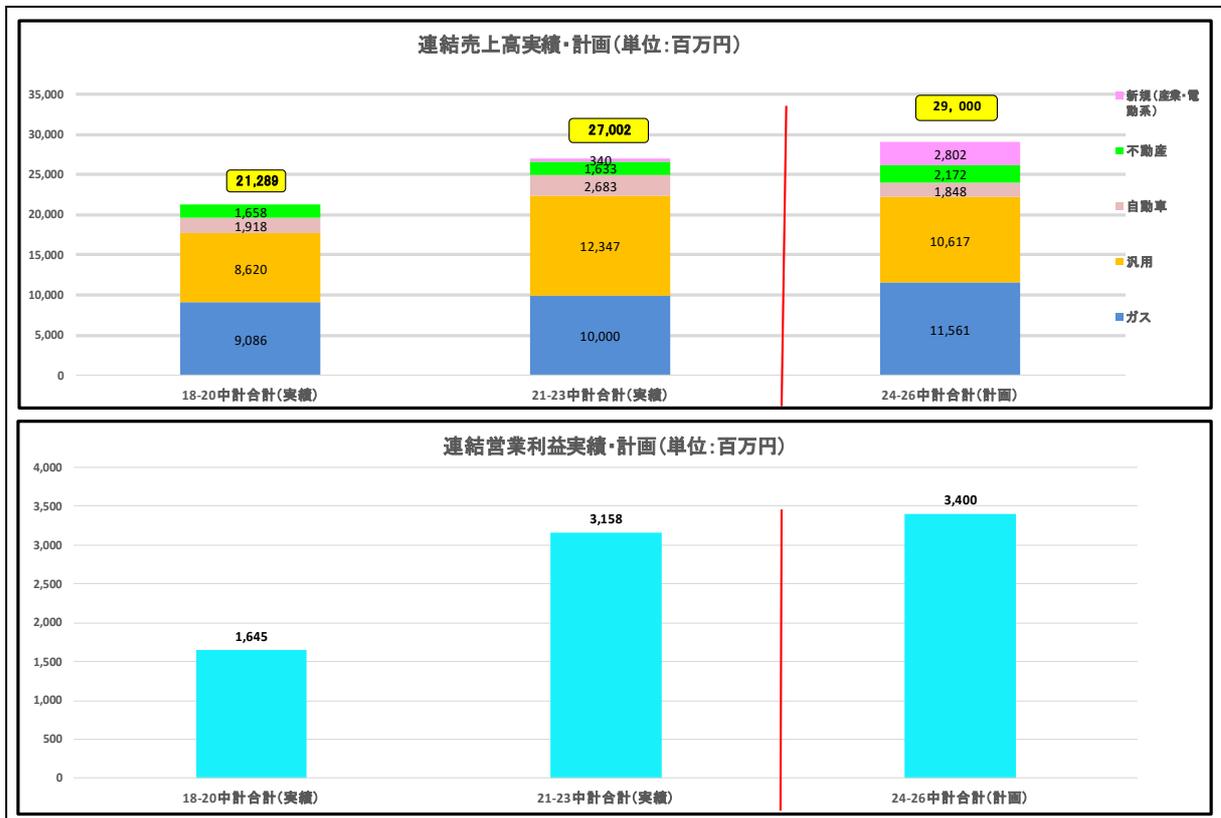
①資本コストを勘案した設備投資判断の徹底、政策保有株式の縮減を更に進める。

②株主還元の強化を図るために、配当性向（現在は30%目標）の見直し等を進める。

3. 計数目標（連結）

	中期経営計画期間（3ヶ年）合計
連結売上高合計	29,000 百万円
連結営業利益合計	3,400 百万円

<参考：中期経営計画数値推移（実績・計画）>



(注) 24-26 中計合計は 2024 年度～2026 年度の 3 ヶ年の中期経営計画期間中の合計を示しております。

以 上

上記の予想は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、外部環境の変化等による様々な要因の変化により、記載内容と異なる可能性があります。